

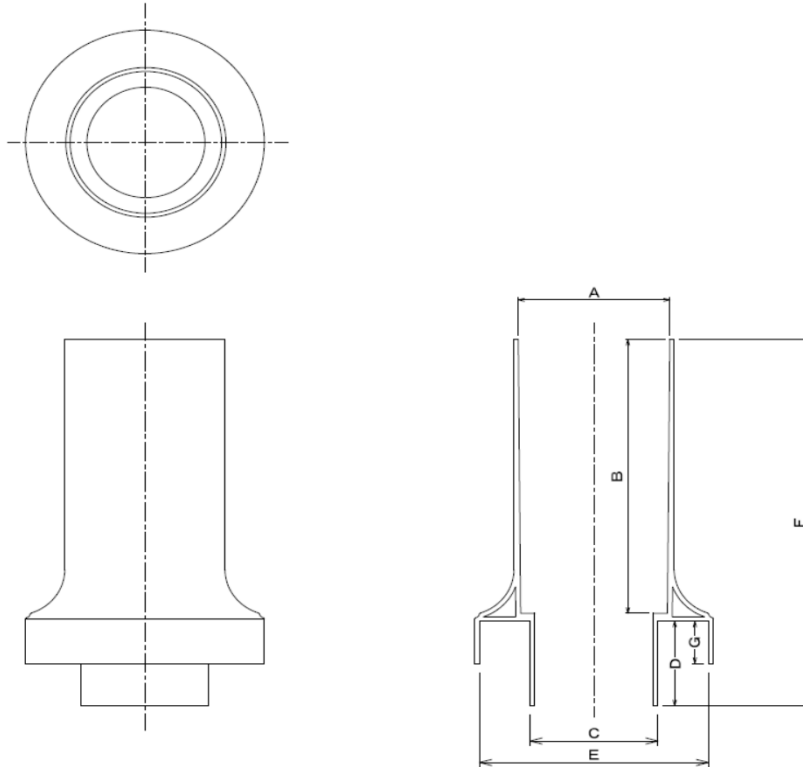
1. 対象部材

樹脂製たてどい排水管カバー(丸型)

略称：CjK 排水管カバー

2. 標準(共通)化の部位

標準(共通)化の部位を図1に示す。



A : たてどい接続部最小部内径
B : たてどい接続部深さ
C : 排水管接続部外径
D : 排水管接続部内部深さ

E : 排水管カバー部内径
F : カバー全長
G : 排水管接続部外部深さ

図1－標準(共通)化の部位

3. 寸法・形状

図1の各部位の寸法を表1に示す。

表1－各部位の寸法

単位：mm

項目	寸法
A : たてどい接続部最小部内径	62
B : たてどい接続部深さ	≥ 100
C : 排水管接続部外径	≤ 53
D : 排水管接続部内部深さ	$20 \leq D \leq 45$
E : 排水管カバー部内径	≥ 94
F : カバー全長	≤ 165
G : 排水管接続部外部深さ	$20 \leq G \leq 45$ かつ $G \leq D$

4. 表示方法

部材・印刷物・電子媒体などに、当該商品が長期使用対応部材であることを表示する。
または、“CjK”マークを表示する。

5. 特記事項

- ・本排水管カバーはCjK樹脂製雨樋(たてどい丸型)の端部と排水管を接続する部品である。
- ・排水管が具備すべき条件としてJIS K 6741に規定されるVU50・65・75、VP65・75の何れかである事。
- ・排水管の地盤面からの立ち上がり寸法は10~20mmの範囲であり、たてどいの切断位置は地盤面から80mmとしている。(図2)

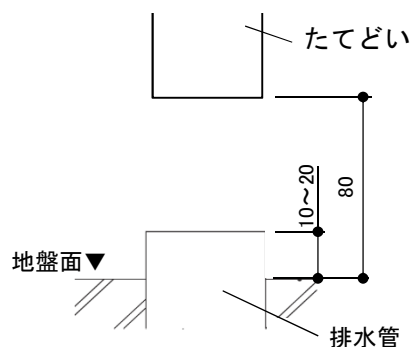


図2—地盤面からの寸法

6. 解説

- ・排水管接続部深さ(寸法D)、カバー全長(寸法F)、排水管接続部高さ(寸法G)については交換時の作業性を考慮して、上限を決定した。(図3)
- ・接続部品の標準寸法以外の部品全体の長さや角度などの形状、たてどい固定用の突起部に合わせたリブを設ける等については問わない。形状の例として図4に示す。

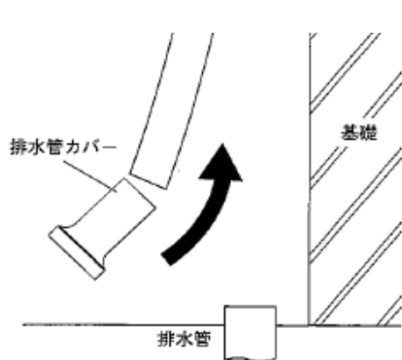


図3—交換時の作業

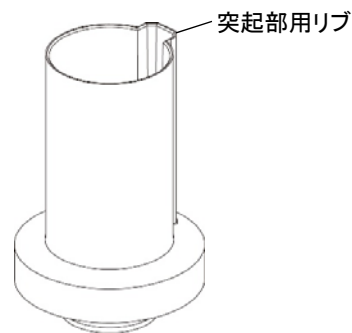


図4—形状の例

7. 共通事項

7.1 寸法について

寸法は基準値を示し、公差・許容差を表すものではない。

7.2 交換について

交換については、専門知識を有する者が行うことを推奨する。

注記)専門知識を有する者とは：専門的知識、技術、経験を有する者である。